杉中学校　生徒支援通信

進木

進木【すぎ】･･･『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。

2025年4月　発行

「いじめについて考える授業」

～１年生 version～

4月15日に「いじめ防止推進授業」を実施しました。いじめ防止対策基本法で定められている「いじめの定義」について確認し、杉中学校からいじめをなくすためにはどうしたらよいかについて、クラスで考えました。授業を終えて、生徒のみなさんの想いを一部紹介します。ぜひ、通信[第5号][第6号]も合わせて読んでください。そして、杉中から「いじめ」をなくしましょう。

「いじめ」をなくすために『あなたができること』･『クラスができること』とは…【表面】

「自分は関係ない」ではなく、自分ができることは進んで取り組む。
(気軽に伝える、とめる)
いじめられている人の気持ちを根から、しっかりと考える。
人をいじめたり、いじめられるようなことは、絶対にNo!

いじめをしないようなかんきょうを作ることが大事。もしだれかがいじめられていたら逃げずに注意、先生に相だんなどの行動をとること。
安全なクラス、みんなが注意できるクラス。

もし、いじめを見つけても観衆・ぼうかん者にならず、止めたり、先生に報告したりして、いじめを止める。
たとえ、遊びだとしても、被害の人がいやだと思ったら、それはいじめになるとしっかり理解しておく。

「いじめについて、自分が感じたこととは…【裏面】

クラスで「あのグループはあそこ」、「1軍、2軍」などクラスの中でグループわけして「お前はくるな」とか、そうならないよう誰とでもしゃべれるようにするなどあたたかいクラスにする。

・今も、これからも「いじめ」のあぶなさなどを考え続けること。
・ひごろの思いやりややさしさを大切にすること。
・「あぶないな」と思ったら話を聞いたり一緒に考えること。
・自分がされていやなことはしない。

いじめを受けてる場所をおもしろがったり、見て自分関係ないとか思うんじゃなくて、たすけてあげる、止めてあげるってことをやってあげないと、クラスでも学校でもいじめがひろがっちゃうから、いじめをちゃんと止めてあげることが大事だと思います。いじめがあったら先生とか友達にそうだんすることもいじめを無くすために必要だと思いました。

・いじめが起きないような環境づくり
→いじめを受けた人が相談できるようなクラス
→注意しあえる関係づくり

全員が「いじめは絶対ダメ」という気持ちを持つことが大切だと思う。全員がその気持ちを持っていたら、いじめはおこらないと思うから。

・いじめがおこるようなふんいきをつくらないこと。
・いじめがおこってしまったときはいっしょにあそんで楽しんだり、見ているだけにならないようにする。
・一人でいたりする人がいたら、いっしょに遊んだり、話しかけたりしてあげること。

いじめている人はいじめられている人の気持ちが分からないからクラスでいじめられた人はどんな気持ちかを考えたり、いじめをなくすポスターを作って教室の一番見える場所にはったりするといつもこころがけることができると思う。

いじめが
生まれない
クラス
学校
社会を
みんなの手で
つくろう！

いじめはやっぱりあってはいけないものだなと
改めて思ったし、もう一度いじめをおこさないために
どんなことができるのか考えておすことができた
これから3年間この学年で、1年間このクラスで
すごしていく中で、いじめがおこらないように、
なくせるように自分ができることとクラスができること
を考えつづけていかないといけないなと思った。

いじめは、1対おお人数からだと思っていたけど、今日勉強して、いじめは1対1でもいじめにはいろってことが学べました。
いじめをなくすには、みんなが協力しないとかいけつできない事が分かった。
自分もいじめのようなことを見たらきちんと注意をしていきたいと思いました。
いじめをやっていても、やられていても、自分がいじめだと思ったらいじめってことおぼえておきたいと思います。

改めて、いじめはだれもいい気持ちにならなくてよくないものだと分かりました。
これからも、今日考えたことを活かして自分からうごいていじめをなくしていけたらいいなと思いました。もしもいじめを見つけたら自分ができることからやっていきたいです！

みてるだけの人もいじめになるのを知りました。
いじめが生まれない、クラスをつくりたいです。

いじめはかがいしゃが気づかない間にいじめたりするから、いじめはこわいと思った。そんないじめがおこらないために周りの人が注意したり、ルールを決めたりこわったりするのが大事だと思った。

いじめはやっぱりあってはいけないものだなと
改めて思ったし、もう一度いじめをおこさないために
どんなことができるのか考えておすことができた
これから3年間この学年で、1年間このクラスで
すごしていく中で、いじめがおこらないように、
なくせるように自分ができることとクラスができること
を考えつづけていかないといけないなと思った。

自分が無意識に言ってることが相手を傷つけることがあるので、一言一言、大事に考えて話すことを考えようと思いました。
言葉には相手を傷つけることもうれしくさせる物でもあるので大事にしようと思いました。

いじめの不必要さを改めて感じた。
どんな理由があっても、人をきずつけたり手を出したりすることは、とても許されることではないし、第三者が何もしないのもそれは違うと思います。なので、まずはいじめを起こさない。もしも起こっても、第三者が助けるのが必要だと思った。

いじめは人間だけが起こしてしまう問題です。
だから、人間が起こした問題は人間の手でなくしていかないといけないと思います。いじめを減らしていくためにクラスの人たちの意見を見ていけば1クラスで約36個の意見がでるはずです。
だから、その36個の内の少しでも取り入ることができたら、加害者も減っていくと思いました。

クラスや学校でいじめをなくすためにはいじめがだめという意識を持ち、言葉づかいや行動に気をつけることが大事だと思いました。
いじめを見て見ぬふりをする人じゃなくて、行動に移して注意することが大事な人だなと思いました。